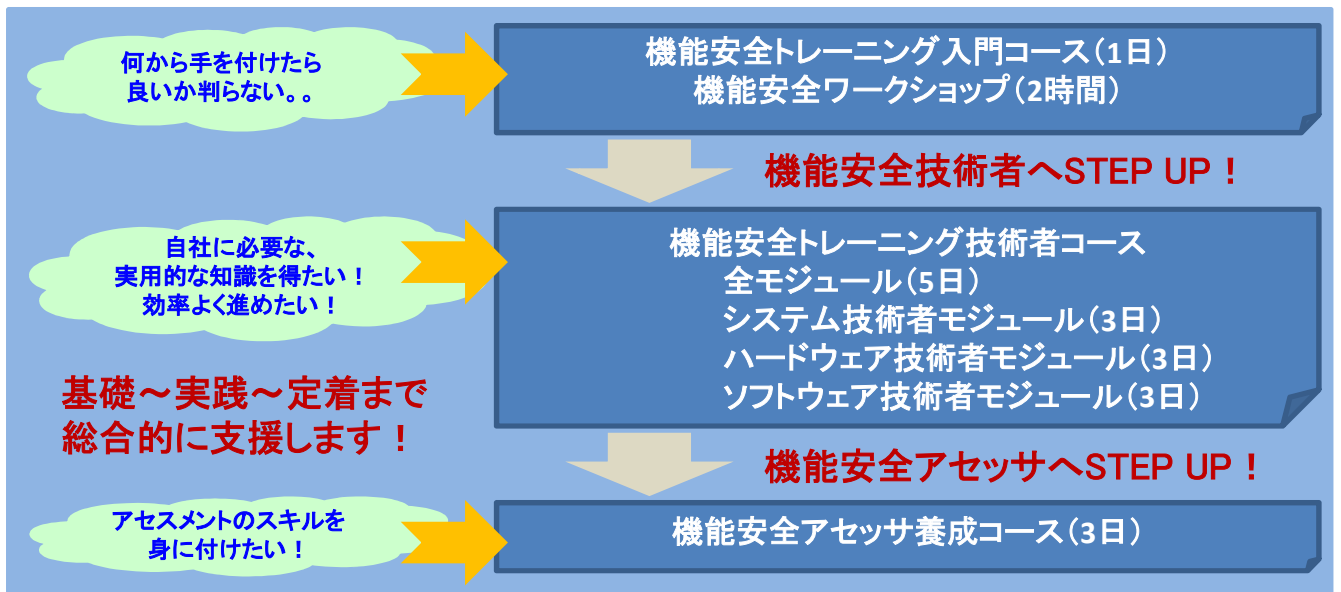
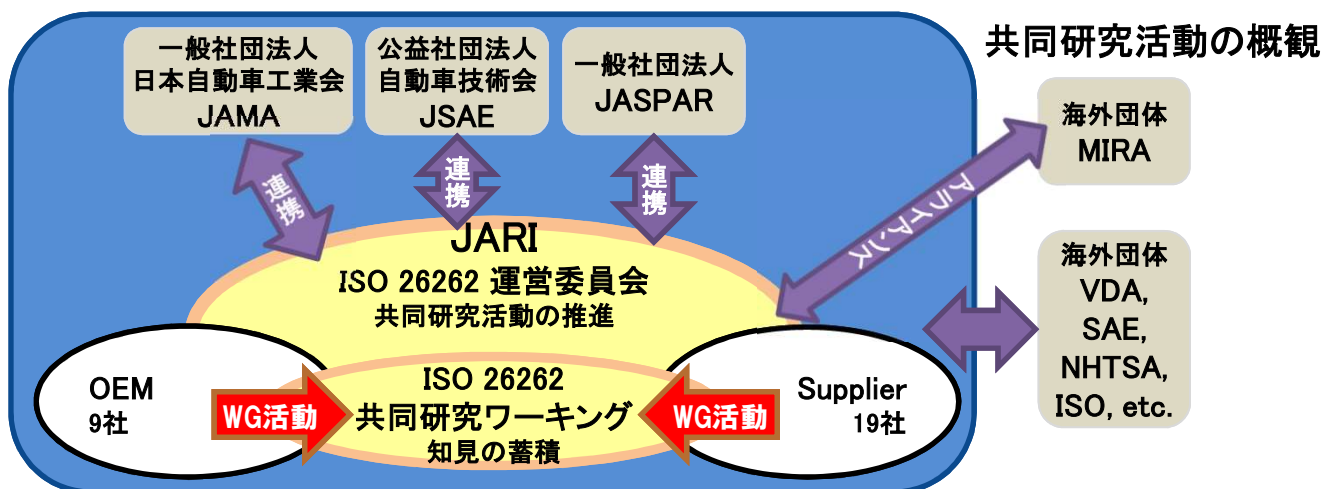
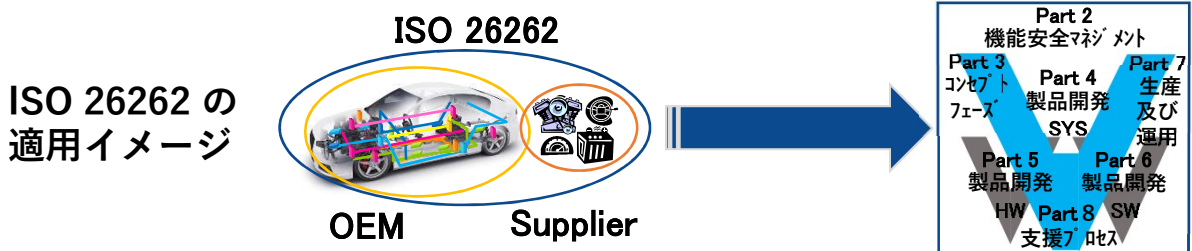


機能安全(ISO 26262) トレーニング



JARI 機能安全トレーニングの特徴

- HORIBA-MIRA社(英国)の機能安全トレーニングコンテンツをベースに、日本の機能安全エキスパートによるレビューを受けた教材を使用
- JARIが推進した共同研究活動*のアウトプットを活用
- 開発経験豊富な講師による現場視点を重視した講義
- 海外カンファレンス参加により得られた欧米メーカーの情報を随所に展開
- ISO 9001等のQMをベースにしたプロセスの重要性を強く意識した内容



*共同研究活動: 2011年にISO 26262運営委員会を設置し、関係諸団体と連携しながらOEM-Supplier間のコーディネーション活動を開始。規格の共通解釈や理解を得るための共同WGを設置し、議論を実施中。

コース名称	時間	概要
機能安全入門コース	一般技術者向け★	1日 <ul style="list-style-type: none"> •安全性と信頼性 •なぜ機能安全が重要なのか •規格策定の背景 •ISO 26262規格の構造 •ISO 26262規格各パートの概観 
	ワークショップ	2時間 詳細はお問合せ下さい
機能安全技術者コース	全モジュール★	5日 <ul style="list-style-type: none"> Module1: 機能安全の基礎知識 Module2: 機能安全の管理 Module3: コンセプトフェーズ Module4: SYSレベルの製品開発 生産及び運用 Module5: HWレベルの製品開発 Module6: SWレベルの製品開発 Module7: HWメトリクスの例 修了試験※1
	システム技術者 モジュール★	3日 Module4を中心としたSYSレベル の製品開発の知識修得
	ハードウェア技術者 モジュール★	3日 Module5,7を中心としたHWレベ ルの製品開発の知識修得
	ソフトウェア技術者 モジュール★	3日 Module6を中心としたSWレベル の製品開発の知識修得
機能安全 アセッサ養成コース	機能安全評価者、 レビューア向け	3日 機能安全アセスメントを中心とし た確証方策の基礎知識、及びレ ビュー、インタビュースキルの修得

★のコースを修了した方には、HORIBA-MIRA社とJARI 共同管理による受講証明番号を付与した受講証明書を発行します。また、技術者コース全モジュールの修了試験※1に合格された方には、HORIBA-MIRA社とJARI による機能安全技術者認定証を発行します。

上記コース以外にも、貴社の開発アイテムに合わせてカスタマイズした、講師派遣型トレーニングやワークショップの開催も可能ですので、お気軽にご相談ください。